

第26回日本福祉のまちづくり学会全国大会に参加して

小嶋 紅葉

日本福祉大学 健康科学部 福祉工学科
建築バリアフリー専修2年

1. 大会概要

2023年9月29日から10月1日までの3日間、宇都宮大学陽東キャンパス他で、日本福祉のまちづくり学会全国大会が「みんなの「いきたい」を支える《まち》へ」をテーマとして3年ぶりに対面にて開催されました。参加者は3日間で191人(社会人163人、学生28人)、研究発表数は88編(14セッション)でした。

分野は、地域社会・生活支援、観光・COVID-19、建築・住環境、交通、地域・まち、防災・安全、案内・移動支援、トイレ、教育・人材育成と9つあり、様々な視点から福祉のまちづくりの研究が行われています。初日は、見学会と連携セミナーが開催され、2日目は研究発表会、研究討論会、市民公開講座、大会長特別セッション、夕方には交流会も開催され、3日目は研究発表会、昼食時にランチョンセミナーが開催されました。いずれの企画も盛況で、多くの参加者で賑わっていました。

2. 企画概要

2023年8月26日の宇都宮芳賀ライトレール線開業に伴い、LRT関連のプログラムが多く開催されました。その他にも様々な企画があり、いくつか紹介します。

2.1 市民公開講座

「宇都宮のLRTと福祉のまちづくり」をテーマに、富山に続き75年ぶりに路面電車を新規開業した宇都宮のLRTについての講座が行われました。「LRTのある富山のまちづくりと宇都宮への期待」と題した

基調講演から始まり、パネルディスカッションが行われました。基調講演では、LRTだけではなく総合的な周辺環境の整備によりまちにより良い結果が現れることや、LRTによって高齢者が安い交通費で外出することが可能となり介護認定が減ることにつながるなど、富山の先行事例を学ぶことができました。パネルディスカッションでは、今後LRTを基にもっとまちを賑やかにするにはどうしたら良いかをフロアを交え、積極的なディスカッションが行われました。

2.2 ランチョンセミナー

10月1日の昼食休憩時に行われました。初めに「バリアフリーの20年の歩み」をテーマとして、バリアフリー新法から20年余が経過したその歩みと今後についての講演が行われました。続いて、「井上眼科病院のユニバーサルデザインの取り組み～眼科医の視点に立った～」というテーマで、疾患別の見え方とそれに対応するユニバーサルデザインの試みや、眼科病院にユニバーサルデザインを導入したことによる患者へのホスピタリティと職員のモチベーション向上の効果が紹介されました。床素材の変化や音による誘導の工夫、光を活用した避難誘導の新たな方法の提案についての内容が特に興味深く、印象に残った講演でした。

3. 感想

今回、学会の全国大会に初めて参加し、様々な分野で活動されている方と出会えたことで大きな刺激を受けました。また、論文発表、研究討論会、公開講座などすべてにおいて討論が活発で、聞いていなくても楽しく、思いつかなかった視点に気付かされることも多くありました。今回の経験を今後の勉強や活動に更に活かしていきたいです。

日本福祉大学 健康科学部 福祉工学科
〒475-0012 愛知県半田市東生見町 26-2

4. おわりに

次回の第 27 回全国大会は「笑顔で楽しく」をテーマとして、2024 年 8 月 30 日から 9 月 1 日までの 3 日間、北海道札幌市の北海道科学大学前田

キャンパスで開催されます。福祉のまちづくりの原点を考え、札幌で笑顔に包まれた暖かい大会の開催を目指します。ぜひ皆さまご参加ください。